

TSUNAGU

小中一貫教育全市展開に向けて

平成30年8月31日
我孫子市小中一貫教育だより
第193号
我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

市全域の小中学校の教員が共に学んだうなー！

8月22日（水）に、コホミンで小中一貫教育研修会を実施しました。

今回の研修は、講師に柏市立柏第五中学校長林英聖先生をお招きし、「長欠及び不適応児童・生徒に対する対応と取り組み～小中が連携して～」と題して、ご講演いただきました。

参加した小中学校教職員の声を中心に紹介します。

小中学校の教員が共に学びました！

長欠・不適応児童・生徒への対応として、個々の児童生徒への丁寧な対応だけでなく、学校組織としての対応の在り方等について実践例をもとに学びました。また、人間関係作り、授業や行事等での児童生徒の主体的な活動を通して、子ども達の資質能力を育てていくことの大切さを学び、改めて小中学校で一貫して取り組んでいかなければならないことを実感しました。



参加した教員の声の一部を紹介します！

- 児童生徒が社会に出るときまでの見通しをもって、日々一貫した指導をしていきたいと思いました。(多数)
- ティーチングからコーチングへと自分の指導を変えていきたいと思いました。教師の役割について学ぶことができました。(多数)
- 「主体的」に活動するというその内容や大切さを知ることができました。(多数)
- 楽しい授業、子どもが安心して過ごせる居場所づくりを目指していきたいと思います。
- 主体性を育むことは、子どもの対応力を育て、何かあったとき、自分で解決できるようになると感じました。
- 中学校区ごとに小中学校を学び方につなぐためのヒントをいただきました。
- 小中学校で同じ目標・視点を持ち、取り組んでいくことの大切さを感じました。
- 小中一貫教育を行うことが前提ではなく、どんな児童生徒を育てたいか（子どもたちが生き生きと生活するためにはどうしたらよいか）を考え、その目標達成の手段の一つとして、小中一貫教育でできることは何かという流れで考えていくことが必要であると感じました。



近くの先生方と、自分たちの取り組みについて振り返る場面も。

これからも、小中学校の教員が力を合わせて、我孫子市の目指す15歳の子どもを育てていくうなー！





TSUNAGU

小中一貫教育全市展開に向けて

平成30年8月31日
我孫子市小中一貫教育だより
第194号
我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

夏季休業中に各中学校区において、
合同研修会が行われたうなー！

現在、我孫子市では、中学校区ごとに特色のある交流活動を、それぞれの中学校区の計画に沿って実施しています。夏季休業中には、市内の各中学校区で小中合同研修会を行いましたので、その様子の一部をご紹介します。

中学校区ごとに小中合同研修会が実施されました！

我孫子中区(我孫子中、我孫子二小、我孫子三小、高野山小)

8/23(木)に、コホミンを会場に、4校教職員合同研修会が実施されました。

講師にICC国際コーチ連盟認定国際コーチ塩田芳久氏をお迎えし、スクールコーチングについてお話しいただきました。また、グループに分かれて実際にコーチングを行い、質問をとおして自分の中にある“答え”に気づいていくことや、価値観に共感してもらうことで励まされ、勇気づけられることなどを学びました。

湖北中区(湖北中、湖北小、新木小)

8/21(火)に、湖北小学校で3校教職員合同小中一貫研修会が実施されました。はじめに、湖北中区のグランドデザインについて共有しました。その後協議会を行い、「学び部会」「総合部会」「豊かな生き方部会」の3つの部会に分かれて、「これから一緒にできること」を中心に話し合いました。最後に、全体会で各分科会の報告を行い、笑顔あふれる情報交換の場となりました。



布佐中区(布佐中、布佐小、布佐南小)



8/22(水)に、布佐中学校で3校教職員合同研修会が実施されました。講師に国際ファシリテーション協会の方々をお迎えし、授業や活動に生かせるファシリテーションについて学びました。アイスブレイクの「ワープくぐり」や、「良い教室の条件マンドラートづくり」を通して、ファシリテーションにおける「拡散のパート」と「収束のパート」の具体について知り、理解を深めました。



「ワープくぐり」や、「良い教室の条件マンドラートづくり」を通して、ファシリテーションにおける「拡散のパート」と「収束のパート」の具体について知り、理解を深めました。

湖北台中区(湖北台中、湖北台西小、湖北台東小)



8 / 21 (火)に、湖北台中学校で3校教職員合同研修会が実施されました。前半の不祥事防止に関する研修では、東葛飾教育事務所管理課速水敏之管理主事を講師にお迎えし、不祥事に関する県の状況や、不祥事を起こすことの重大さについてお話しいただきました。その中で、職員間のコミュニケーションの大切さを学びました。後半には、小中学校教職員混合チームでヘルスバレーボールを楽しみ、親交を深めました。



久寺家中区(久寺家中、根戸小、並木小)



8 / 23 (木)に、根戸小学校で3校合同教育ミニ集会が実施されました。講師にNPO法人企業教育研究会の竹内正樹氏をお迎えし、「情報社会と児童生徒がうまく関わるために」と題してご講演いただきました。低年齢期からの情報モラル教育の重要性や、学校と家庭がともに教育していくことの大切さについて学びました。後半は小中学校教職員そして地域や保護者の方々を含めた小グループで分科会を行い、「情報社会を生き抜ける児童生徒を育てるために、学校と家庭と地域が連携して取り組めること」について話し合いました。



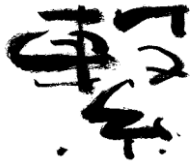
白山中区(白山中、我孫子一小、我孫子四小)

8 / 24 (金)に、我孫子第一小学校で3校教職員合同研修会が実施されました。講師に伊坂尚子氏をお迎えして、「新学習指導要領の趣旨を踏まえた『主体的・対話的で深い学び』を考える」と題して、ご講演いただきました。「主体的・対話的で深い学び」は「子どもたちに求められる資質・能力を育む」ための手段として位置づけられていることを確認し、その具体について、昨年度の我孫子第一小学校や我孫子中学校の事例、また全国の先進事例をもとに学びました。



各中学校区でも、小中一貫教育推進中！各中学校区で研修を行うことで、学んだ情報を共有して、児童生徒への指導へ生かしていきます。また、いろいろなテーマで職員間の交流を図ることで、より密な連携が取りやすくなるうな～。





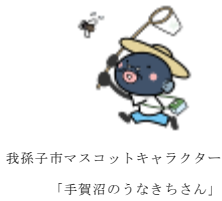
TSUNAGU

小中一貫教育全市展開に向けて

平成30年9月13日
我孫子市小中一貫教育だより
第195号
我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

2学期が始まり、Abi☆小中一貫カリキュラムの
学習も続々とスタートしたなうなー！

現在、我孫子市では、平成31年度の小中一貫教育全市展開に向けて、各校の教育課程の中に Abi☆小中一貫カリキュラムが組み込まれ、学習が行われています。さらによりよいカリキュラムを目指すべく、1学期より各中学校区でテーマを絞り、校内職員の参観や、小中学校職員の相互参観等を行っています。

並木小学校で、Abi-ふるさと「岡田 武松」についての学習が行われました

岡田武松は、どんな人物だったのだろう

9/6(木)に、並木小学校で、Abi-ふるさと「岡田武松」についての授業が行われました。はじめに、過日日本列島で猛威を振った台風の写真を見て、気象の変化がもたらす自然の脅威に思いを馳せる6年生の子どもたち。そして気象学の発展への貢献から「気象学の父」と呼ばれた布佐出身の「岡田武松」がどんな人物だったのか、その業績と生き方を『ふるさと我孫子の先人たち』をもとに、学んでいきました。



人のためになることをしたい(幼少期からの思い)

岡田武松の気象学への貢献や、技術者を育てる姿勢、地元布佐での生活の様子を知り、子どもたちは、自分たちならどうするだろうかと真剣に考えながら、岡田武松の生き方や考え方に共感しながら学びを深めていました。

学習を終えて(児童の感想)

学習のまとめでは、「自分の利益のために技術を使ったりせずに、『人のために』という信念を貫いた岡田武松さんの生き方に感動した。」などの感想が聞かれました。





TSUNAGU

小中一貫教育全市展開に向けて

平成30年9月13日
我孫子市小中一貫教育だより
第196号
我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



Abi-道徳を活用した授業が実施されたうなー！

学習指導要領の改訂に伴い、「特別の教科 道徳」が教科に位置づけられ、小学校では今年度より教科書を使用しての学習が行われています。学習内容については、現在活用中の Abi-道徳の内容と同様となっているため、これまで通り、教育課程に組み込んで実施しています。

湖北台西小学校で、Abi-道徳を活用した学習が行われました

テーマは「郷土愛、愛国心」

9/10(月)に、湖北台西小学校で、Abi-道徳を活用した学習が行われました。6年生の子どもたちは、「郷土愛、愛国心」をテーマに、坂本龍馬は新しい日本を作るために、どのようなことを行ったのかということを知りました。

最後まで諦めずにやり抜くことの大切さ

それとともに、我孫子市の発展に尽くした先人たちの偉業や努力についても、改めて見つめ直しました。そうした先人たちの姿から、最後まで諦めずにやり抜くことの大切さについて改めて気づくとともに、これからの生き方や目標について考える機会となりました。

子どもたちにとって難しいテーマではありましたが、どの児童もこの課題に意欲的に取り組む姿が見られました。





TSUNAGU

小中一貫教育全市展開に向けて

平成30年9月13日
我孫子市小中一貫教育だより
第197号
我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-ふるさとを活用した授業が実施されたうなー！

湖北中学校区では、Abi☆小中一貫カリキュラムのうち、Abi-ふるさとについて重点的に授業研究が行われています。各校、各学年で取り組む中、今回は小中学校職員の相互参観のあと、協議会が行われました。

湖北小学校で、Abi-ふるさと「飯泉 喜雄」についての学習が行われました

「我孫子駅」ができて、
我孫子市はどうなった？

9/11(火)に、湖北小学校で、Abi-ふるさと「飯泉喜雄」についての授業が行われました。5年生の子どもたちは、明治時代の地図から、昭和初期、そして平成20年の地図を見比べて、グループで活発に話し合い、「我孫子駅」が開設されたことにより、我孫子が大きく発展していることに気づきました。



飯泉喜雄は、なぜ我孫子駅を開設したのだろう

地図から見取った我孫子の変化や、資料の内容から、子どもたちは、飯泉喜雄がなぜ私財をなげうってまで、常磐線の誘致運動に取り組んだのかと、飯泉氏の我孫子への思いを感じ取っていました。まとめでは「人と町のために、土地を無償で提供するなどして、そんなことができるなんてすごいと思った。」「利用客の喜ぶ顔が見たかったのだと思う。」などの感想が聞こえてきました。



よりよいふるさと学習を目指して

授業後、湖北小、新木小、湖北中の代表者が集まって、協議会が行われました。資料の提示方法の工夫や、学習内容の焦点化、教科横断的な学習としてだけでなく、積み重ねてきた学習を生かす方法など、授業をよりよくするための意見が出されました。



T S U N A G U

- **小中一貫教育全市展開に向けて** -

平成30年9月26日
我孫子市小中一貫教育だより
第198号
我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

中学校の初任教員が小学校の授業を参観したうなー！

初任教員の授業力アップ研修として、市内中学校の初任教員が、小学校のICTを活用した算数の授業を参観しました。その後、協議会が行われました。小中学校の交流研修は、こうした教職員のライフステージごとの研修でも行っています。

我孫子第四小学校で、中学校初任教員の授業力アップ研修が行われました。

ICTを活用した算数学習

9/11(火)に、我孫子第四小学校で、中学校初任教員を対象に、授業力アップ研修として、ICTを活用した算数の授業参観が行われました。

授業後に行われた協議会では、授業者からICTの活用例を学び、また学習規律や生活の中での約束ごとなどが話題となりました。

初任教員からは、「児童生徒の実態や発達段階に応じて、適切な学習課題を設定することの大切さを実感した」という声が多く聞かれました。



Abi-道徳を活用した授業が実施されたうなー！

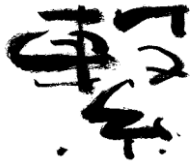
Abi-道徳では、「命の大切さ」を主題とした小中を貫くカリキュラムを作成し、千葉県教育委員会のすすめる『いのち』のつながりと輝きに取り組んでいます。

我孫子第二小学校で、Abi-道徳を活用した授業が行われました。

「たんじょうび」

9/19(水)に我孫子第二小学校で Abi-道徳「命のありがたさ」についての学習が行われました。授業では、2年生の子ども達が「自分が生まれた時のこと」を家族から教えてもらい、自分たちの誕生と、資料の主人公の「たんじょうび」のできごとを重ねながら、命の大切さについて学びました。命が誕生したときの家族の心情を想像したり、家族への感謝の気持ちを抱いたりする児童の姿も見られました。





TSUNAGU

小中一貫教育全市展開に向けて

平成30年9月28日
我孫子市小中一貫教育だより
第199号
我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうきちさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

布佐小と布佐南小の6年生が布佐中に登校したぜー！

布佐中区では、今年も布佐小と布佐南小の布佐中登校を実施しています。今回は、静岡県沼津市の小中学校の中堅教員4名および指導主事1名の合計5名が、教職員研修の一環として、視察に訪れました。

布佐小と布佐南小の児童が、布佐中学校に登校し、交流しました。

9/20(木)に、今年度2回目の布佐中登校が行われました。全体会では、布佐中学校の生徒会役員からの話や校長先生の話がありました。児童が気を引き締め、集中して話を聞く様子に、進学後の姿が垣間見られたようでした。



5校時は、小中学校合同の英語の授業が行われ、ALTと一緒に英語でのコミュニケーションを楽しんだり、小学生と中学生が仲良く活動したりする姿が見られました。



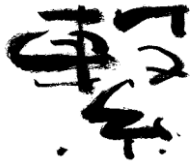
6校時には、小小の交流による男女別の体育の授業が行われました。男子は道着を身につけて、武道館で武道についての学習が行われました。また、女子は体育館で、小小合同チームをつくり、バスケットボールのゲームを行いました。



今回は、沼津市の小中学校の中堅教員および指導主事が視察に訪れ、こうした交流の様子を参観されました。児童の下校後、沼津市の教職員へ向けて、布佐中学校長よりこれまでの布佐中学校区における小中一貫教育の取組と今後の方向性等について説明が行われました。

布佐中学校区の小中一貫教育は、「歴史とともに歩む街・布佐～ふるさと布佐を心に刻み、その歴史と文化を語り伝える人材を育てる～」というテーマのもと、職員が小中一貫教育の目標と目指す理想の生徒像を共有し、児童生徒と向き合いながら進められています。それが、今の子ども達の姿へとつながっているんだぜー。





T S U N A G U

- **小中一貫教育全市展開に向けて** -

平成30年9月28日
我孫子市小中一貫教育だより
第200号
我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうきちさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-ICT を活用した授業と協議会が実施されたうなー！

Abi-ICT では、ICT 教育のうち、情報モラル教育を通じてコミュニケーション力や豊かな心の育成を図ることをねらいとして、取り組んでいます。

我孫子第一小学校で、Abi-ICT を活用した授業と白山中区の協議会が行われました。

「インターネットの長所と問題点」

9 / 26 (水) に我孫子第一小学校で Abi-ICT 「情報モラル」についての学習が行われました。6年生の子ども達は、まず、インターネットの便利さについて話し合い、コミュニケーションや遊びの中で日常的に親しんでいることを話題にしていました。

そのような便利さがある反面、インターネットを利用する「こわさ」についても学びました。総務省の HP からの資料



をもとに、インターネットを介したトラブルや、犯罪事件についてなど、授業者の話に真剣に耳を傾けながら学び、その後はグループ内でも様々な問題点について意見が交わされました。

授業のまとめでは、子ども達は「インターネットは便利だけど、いろいろこわいことがあることがわかった」「使い方を考え、正しい使い方でもっと便利に使いたい」「簡単に情報を発信しないようにする」「個人情報の流出をしないようにする」などの感想を残していました。



協議会での様子

授業後に行われた協議会では、白山中学校区の、我孫子第一小、我孫子第四小、白山中の代表者が集まり、授業についての振り返りや、今後の白山中区内での小中一貫教育について話し合いが行われました。授業については、「子ども達が、日常生活の中でインターネットを利用する機会がいかに多いかということが、改めてわかった」という声が第一声となりました。一方で、インターネットに関する知識や、関わり方については、個人差が大きく、それを踏まえて授業を考え、行っていく必要性を感じました。また、ICT については環境の変化がめまぐるしく、最新の情報をもとに、子ども達の指導にあたることの大切さが話し合われました。

小中一貫教育については、小中学校のなめらかな接続のために、今後さらに3校の職員の交流機会を確保することや、小中学校の職員が現状の児童生徒の姿を共有することの必要性について話し合われました。